

しまね学校図書館活用コンクール 取組の概要

学校名 浜田市立第四中学校

1 応募部門 ※ 応募する部門に○を付けてください。

() 読書活動部門

(○) 学校図書館を活用した授業部門

2 実践のねらい

- 学校図書館に、学習情報センターとしての機能があることを生徒・教員に理解してもらう。
- [生徒] 図書館を活用した学習により、情報収集能力、情報活用能力を育てる。
- [教員] 学習内容の深化や、発展的学習の支援となる教材開発を促す。
- 双方の理解により、主体的に情報を活用する態度を育てる。

3 実践の概要（学校図書館とのかかわりがわかるように記すこと。）

「竹取物語」（1年生国語）

1年生は、「思考力」「判断力」「表現力」を身に付けるために基盤となる重要な学年である。小学校で身に付けた知識・技能をもとに、それらを活用する能力を継続的・計画的に育まなければならない。1学期に、段落ごとの要点のまとめ方を再確認し、本単元では「情報を取り出す」「情報を活用する」「得た情報をまとめる」ことで発展的な学習を盛り込んだ。教科書では大まかな筋しか描かれていない求婚者について、図書資料を使って調べることで、作品への更なる関心や他の古典への関心が持てるようになった。情報カード・参考文献カードの活用を通して、情報の扱い方に配慮する心を育てた。

「いろいろなグラフを使う」（3年生数学）

授業で学習したグラフを活用して、統計をグラフ化する学習を行った。統計コンクールへの出品を目指して、生徒個人の興味に沿ったテーマを各自設定し統計を調べさせた。図書資料だけではすべてに対応できなかったり、資料が古い場合もあり、インターネットとの併用で調べた。生徒たちは調べる中で、総務省統計局の資料が正確であること、内閣府出版のさまざまな白書に身近な出来事がデジタル化されてまとめられていることを知り、その他のテーマについても関心を抱いていた。図書資料とインターネットの使い分けという点でよい学習となった。

「プラスチック」（1年生理科）

プラスチックの種類、性質について調べた。個人で調べたいものを設定し、積極的に調べた。レポート提出に向けて、全員が休憩時間も図書館を利用するなど良い取り組みとなった。中には、調べているうちに身近な環境問題に発展し、公害問題まで考えるに至った。また、調べた内容から、自由研究などでさらに追究したいという意欲も生まれた。

「楽器について」（3年生音楽）

3年生はさまざまな調べ学習を経験してきた。生徒を楽器のパートによりグループ分けをし、各パートごとに楽器ごとの担当を決め、楽器（発祥、歴史、音域、楽器にかかわる小物など）について調べた。それぞれが調べたことは情報カードにまとめ、さらにパートごとにレポートを作成し、発表した。音楽部があり楽器についてはよく知る生徒もいるが、その歴史など深く知るよい機会にもなったようだ。今回は図書資料だけでなく、楽器のカタログも扱ったため、楽器の価値についても学べたようである。

4 実践の成果

- 生徒たちが、「調べ学習がしたい」と主体的な学習を望むようになった。
- さまざまな教科での取り組みにより、テーマや目的に合った情報の取り出し方やまとめ方を学んでいる。経験を重ねることで、より正確な情報得るための、情報への到達の仕方を習得しつつある。また、情報カード、参考文献カードを活用できるようになってきた。
- 自然に図書の分類について理解し、情報を求めて自ら当てはまる分類の棚に図書を探しに行く姿が見られる。また、積極的に学校図書館司書にアドバイスを求める姿が見られる。
- 「読書好きの人が行く場所」と敬遠しがちだった生徒が、資料を求めて図書館へ行く姿が増えた。また、図書のレファレンスの要望、貸し出し本の予約が激増した。
- 調べ学習の該当学年の生徒が調べている内容に他学年の生徒が興味を示し、休憩時間に助言する姿も見られた。
- 各教科の中でも、図書館を活用する領域が増えてきた。そのため、調べ学習にかかわる参考図書資料のリストが充実した。来年度以降、参考図書の提示にも役立つと考える。

※A 4判で1～2枚にまとめる。